

日奈久っ子



八代市立日奈久小学校
学校便り 第2号
平成31年4月26日発行
文責 中村

3つのいっぱい「えがお・やるき・げんき」

授業参観・PTA総会・学級懇談会お世話になりました。～PTA総会校長講話より

本年度は、子ども達に「日奈久プライド」という言葉を贈りました。この「日奈久プライド」が持てるよう「えがおいっぱい」「やるきいっぱい」「げんきいっぱい」を続けていきたいと考えています。

「えがおいっぱい」は、「挨拶と返事は、いつでも、どこでも、気持良く」と「ありがとう。つまり感謝の気持ちを持って言葉を使う」です。日奈久っ子の挨拶については、様々な場面で褒めていただけるようになりました。明るい挨拶は心と心をつなぐ鍵。返事もまたしかりです。

言葉づかいについて「その一言で励まされ、その一言で夢を持ち、その一言で腹が立ち、その一言でがっかりし、その一言で泣かされる。ほんのわずかな一言が、不思議な大きな力を持つ。ほんのちよっとの一言で」という言葉があります。心に感謝の思いがあれば、言葉の使い方も変わってきます。子ども達にはお家の方、先生方、地域の方、友だちへの感謝の心を持った生活をする事で、すべての子ども達が「えがおいっぱい」で過ごして欲しいと思っています。



「やるきいっぱい」は、「話を聞いて、『なっとく』『はてな』を言葉で伝えよう」と「自分で気づき 考え 行動する。特に家庭学習と掃除をがんばろう」ということです。

学習は、分からなかったら、分かるようにすること、分かったら、次にはできるようになること、できたら、次には使えるようになることが大切です。使えるようになる段階まで進めるには、「分かった・分からない」「できた・できない」等を先生や友だちに言葉で伝え合いながら学習を進めることで理解が深まり、学力がついていきます。間違えることは恥ずかしいことではありません。学校は、互いに意見を言い合える学級づくりを目指していきたいと考えています。



また、「家庭学習」と「掃除」は子ども達にとっては「がんばりどころ」です。「家庭学習」は「授業」とは違い、するかしないかは、子ども自身の意思や意欲にかかってくる行動です。「掃除」もしかりです。この2つを嫌々ながら、仕方なくではなく、前向きにできるようになると、子どもは変わってきます。学校でも支援していきます。ご家庭でも、子どもさんの「やるき」につながる励ましをお願いします。

「げんきいっぱい」は、「心を整え、落ち着いた生活をしよう・はき物のかかとをそろえる」です。八代市の小中学校には「八代スピリッツ」という、子ども達への約束があります。その3番目に「靴のかかとを靴箱の手前のへりに揃える」という約束があります。これは、靴箱に靴を入れて、すぐ手を離すのではなく、靴を手前に引いて靴箱のへりにそろえることで、靴はもちろん揃いますが、揃えた人の心が揃えられ整えられると考えられています。



履き物を揃えることは、自分の心を整えるだけではありません。家の玄関でも、学校の靴箱でも、人が靴を乱して脱ぎっぱなしにしていたら、黙って、揃えておいてあげる。スリッパも、次に履く人が履きやすいように揃えておく。履き物を揃えることは、自分の心を整えるだけでなく、他の人の心も、ひいては世界中の人の心も整えられるといわれています。

私たち大人の役割は、「未来を生きる子どもを育てる」事ですが、そのために「子どもが育つ、よい環境をつくること」が重要です。子どもにとっての環境は、家庭、学校、地域です。どうぞ、お子様のよりよい成長のために、家庭、学校、地域が共に手を携え、お子様のことを中心に一緒に考えていきましょう。

家庭訪問お世話になりました。

23日までの家庭訪問、大変お世話になりました。お子様のご家庭での様子などを聞くことができよかったです。本当にありがとうございました。

10連休は健康、安全に気をつけて

明日から10連休です。次に学校に来る日は「令和元年5月7日」それまで、事故や怪我のないよう、また生活リズムを整えて、元気に楽しく過ごして下さい。家庭学習も計画的に行いましょう。!

日奈久校区 防災訓練参加について

6月8日(土)午前7時半から12時、日奈久校区市政協力員協議会、住民自治会、八代市主催の防災訓練が小学校の体育館等で行われます。

熊本地震から3年。日奈久断層には、依然としてひずみがエネルギーをため込んだ状態にあり、「M6.5~7 近くの地震がいつ起きてもおかしくない。明日起きる可能性もある。」と言われています。

命を守る訓練を地域住民相互で行う、またとない機会です。是非、子どもさんを含めたご家族皆さんで、参加下さいますよう、学校からも、御案内申し上げます。

